

令和8年度当初予算のあらまし

～ 一人ひとりの「今」に寄り添い 歩みを進め、笑顔輝く未来へ ～



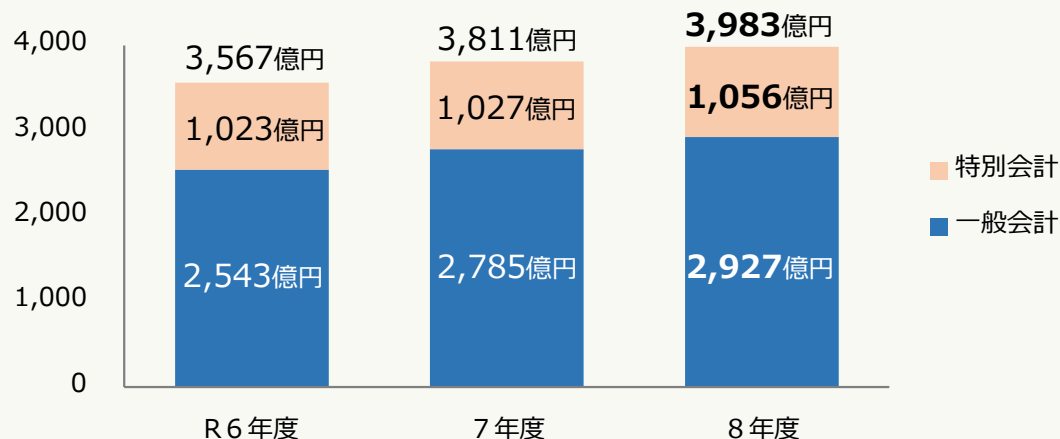
スポーツと人情が熱いまち
江東区

当初予算のポイント

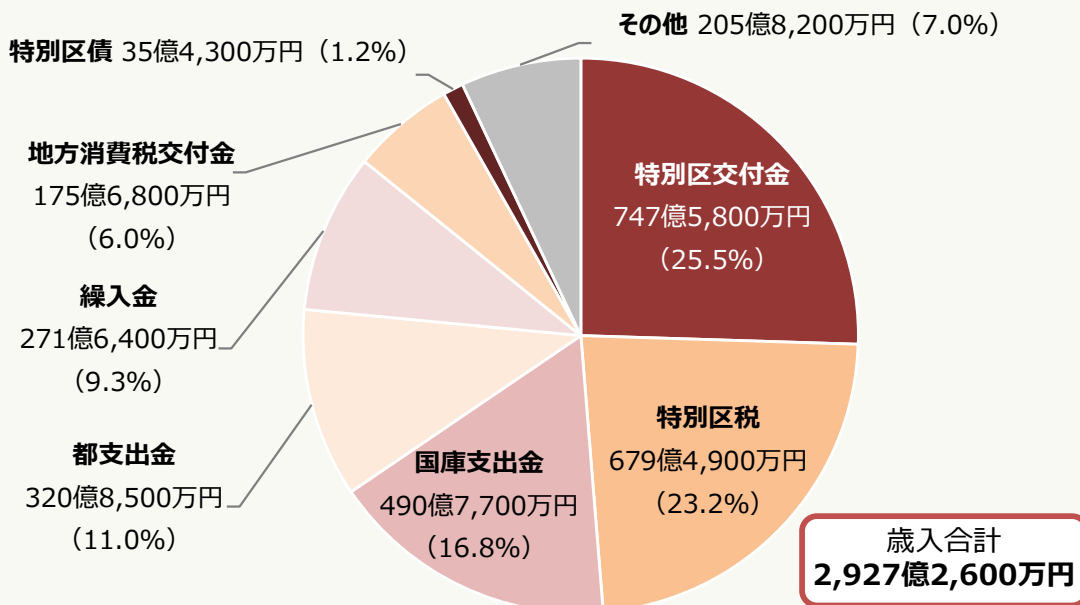
予算規模

	8年度	7年度	増減率
一般会計	2,927億2,600万円	2,784億5,300万円	5.1%増
国民健康保険会計	468億9,600万円	471億2,200万円	0.5%減
介護保険会計	435億5,000万円	422億1,700万円	3.2%増
後期高齢者医療会計	151億6,400万円	133億2,400万円	13.8%増
合計	3,983億3,600万円	3,811億1,600万円	4.5%増

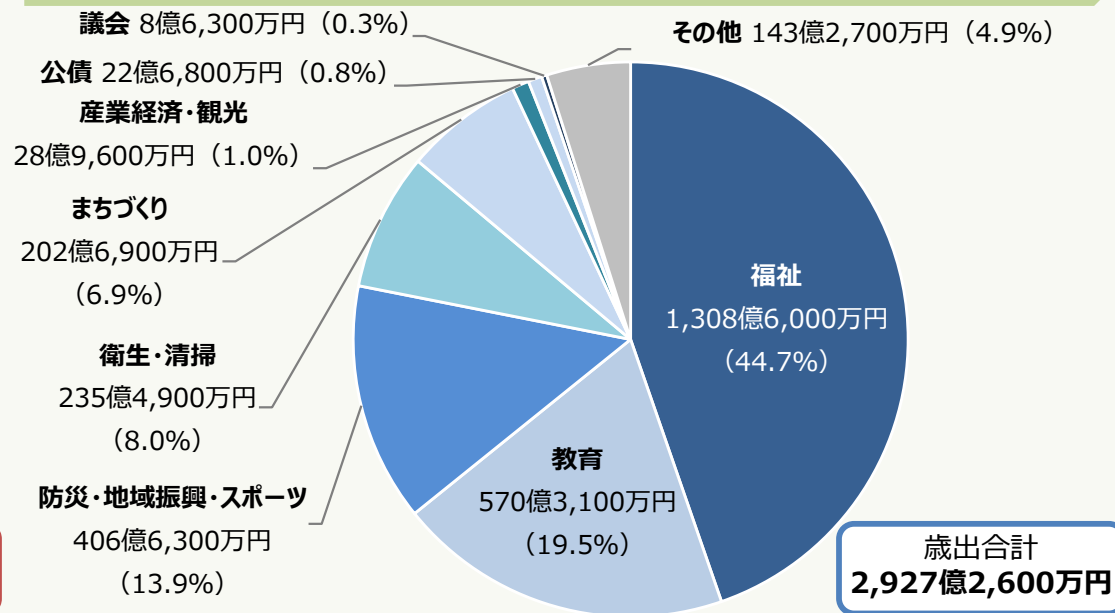
一般会計、4会計合計ともに8年連続の増加で、
過去最大の予算規模



歳入の内訳 (一般会計)



歳出の内訳 (一般会計)



区民一人当たりの予算（一般会計）

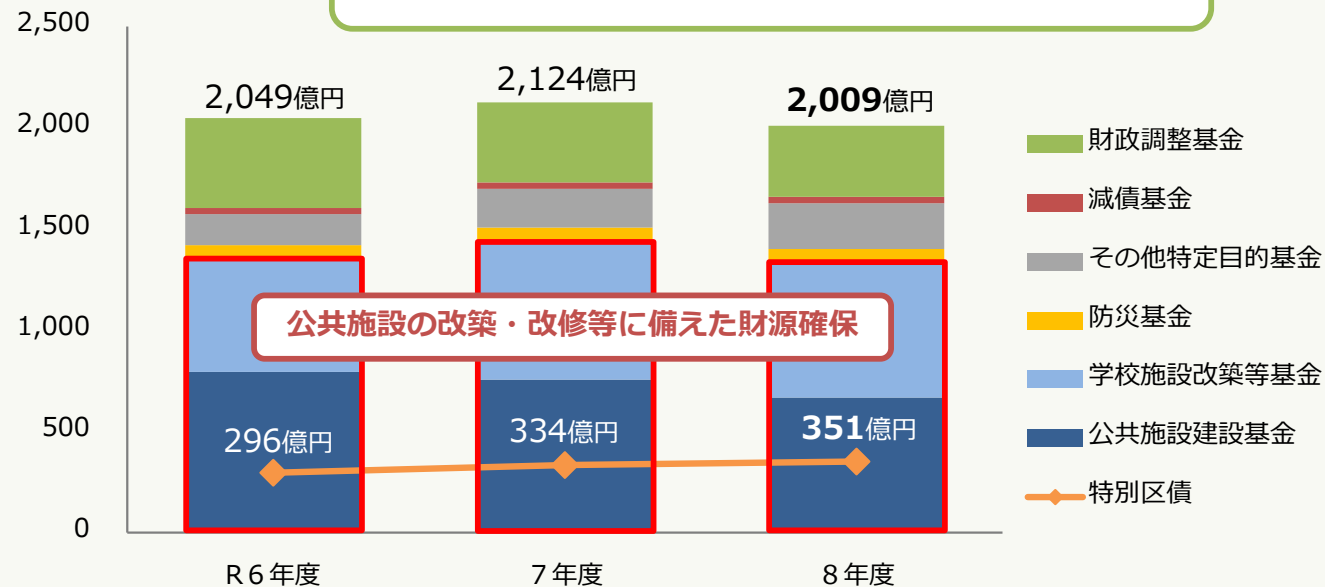
- 高齢者や子育て支援、教育、防災対策などに多くの予算を計上
- 区民ニーズや区を取り巻く現状を的確に把握し、必要な施策に適切に配分

目的	費目	金額	構成比
高齢者や子育て支援など福祉施策に	民生費	240,908円	44.7%
学校教育や図書館などに	教育費	104,992円	19.5%
防災対策や地域振興、スポーツ振興などに	総務費	74,860円	13.9%
健康診断や母子保健、環境・清掃事業に	衛生費	43,353円	8.0%
道路・公園の整備やまちづくりに	土木費	37,315円	6.9%
商工業や観光の振興、消費者保護などに	産業経済費	5,331円	1.0%
特別区債の償還に	公債費	4,175円	0.8%
議会の運営のために	議会費	1,589円	0.3%
その他	他会計への繰出金等	26,376円	4.9%
合計		538,899円	

積立基金と特別区債の残高推移

- 貯金にあたる基金残高は、公共施設建設基金と学校施設改築等基金の2つで**全体の7割近く**を占めており、**今後の公共施設の改築・改修需要等に備えた財源を確保**
- 借金にあたる特別区債残高は、増加傾向にあるものの、**計画的な起債により安定的に推移**

「江東区公共施設等総合管理計画（令和5年3月改訂）」では、**今後30年間の改築・改修費用を約6,471億円と推計**



8年度予算における重点的な取組み ～3つの重点テーマ～

8年度に実施する「新たな取組み」や「事業の拡充」のうち、主なものを抜粋しています

1 防災・減災対策の強化

●災害用携帯トイレ配布・備蓄啓発事業（15億5,827万円）

- ・災害に備えた備蓄促進や在宅避難の定着を図るため、全世帯に対し携帯トイレ及びトイレガイドブックを配布



●民間防災組織育成事業（295万円）

- ・地域防災の新たな担い手を育成するため、避難所運営サポーターの申込対象年齢を高校生を除く18～29歳から、高校生を含む18～39歳に拡充

●地域防災計画進行管理事業〔分科会の設置〕（1,684万円）

- ・災害時協定分野ごとの実効力向上を図るため、災害時協定連絡協議会の分科会を設置

●地域防災計画進行管理事業〔受援応援計画の策定〕（838万円）

- ・外部からの人的・物的支援の円滑な受入れや、被災自治体への支援を実施する体制を整備するため、受援応援計画を策定

●職員危機管理態勢確立事業（399万円）

- ・災害対策本部運営訓練のレベルアップを図るため、震災及び風水害を想定したシナリオ作成等を委託化

●災害情報通信設備維持管理事業（385万円）

- ・災害時における被災者支援の迅速化を図るため、応急危険度判定を公用のスマートフォンで行える仕組み等を導入

●（仮称）新木場防災倉庫整備事業（296万円）

- ・備蓄物資の運搬手段を多様化するため、23区最大となる（仮称）新木場防災倉庫の整備にあわせたヘリポートの設置に向けて、航空関係の特殊性の高い調査等を実施



<防災倉庫屋上のイメージ>

●備蓄物資整備事業〔輸送計画の策定及び備蓄物資管理体制の再構築〕（2,587万円）

- ・備蓄物資の円滑な輸送体制の確立や管理体制再構築のため、輸送計画の策定及び防災倉庫の棚卸等を実施

●備蓄物資整備事業〔災害時トイレ確保・管理計画の策定〕（886万円）

- ・災害時におけるトイレ環境向上のため、災害時トイレ確保・管理計画を策定

●拠点避難所公衆無線LAN維持管理事業（2,530万円）

- ・安全性・利便性向上を図るため、拠点避難所に国際規格であるOpen Roaming対応の可搬型Wi-Fi機器を整備

●無電柱化推進計画策定事業（2,113万円）

- ・新たなまちづくり方針の策定等、本区を取り巻く状況の変化に対応するため、江東区無電柱化推進計画を改定

●民間建築物耐震促進事業（9,600万円）

- ・民間建築物の耐震化をさらに促進していくため、分譲マンション及び障害者等が居住する木造住宅に対する耐震改修助成費の補助上限額等引上げを実施

●不燃化特区推進事業（1,400万円）

- ・不燃化をさらに促進していくため、親世帯と子世帯等の多世帯が同居するための建替えを対象に、加算助成を実施

2 多様な世代を対象とした施策の充実

●乳児健康診査事業（3,234万円）

●妊産婦健康診査事業（5,844万円）

- ・8年10月の都内共通受診方式の公費負担制度導入に合わせ、1か月児健診及び産婦健診を実施するとともに、8年4月から9月は区独自に健診費用の助成を実施

●保育所等における乳児等通園支援事業（8億6,479万円）

- ・保育所等において、未就園児を対象に専用保育室や空き定員等を活用した乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）を実施

●幼稚園等における乳児等通園支援事業（1億6,869万円）

- ・幼稚園等において、未就園児を対象に専用保育室等を活用した乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）を実施

●重症心身障害児（者）在宅レスパイト支援事業（158万円）

- ・家族等の経済的不安を軽減するため、利用者負担額を無償化

●医療的ケア児等支援事業（915万円）

- ・重症心身障害児対象の障害児通所支援施設への委託により、開所時間外に医療的ケア児の一時預かりを実施するとともに、備品購入等環境整備にかかる経費を補助

●こども家庭向け複合施設整備事業（9,340万円）

- ・旧潮見第一自転車保管場所・旧建替支援用工場跡地に、区のこども家庭センター（児童福祉機能）及び子ども家庭支援センターと、都の児童相談所を併設した複合施設を整備

●小学校夏季施設等参加費補助事業（1億8,163万円）

●中学校修学旅行等参加費補助事業（2億6,190万円）

- ・区立小学校夏季施設や中学校修学旅行等の宿泊行事にかかる保護者負担の費用を補助（実質無償化）するとともに、公立特別支援学校に通う児童・生徒に対しても同等の補助を実施



●教育支援センター事業（5,693万円）

- ・臨海地区の不登校児童・生徒の受け入れ場所を確保する観点から、ブリッジスクール辰巳教室を開設

●男女共同参画活動援助事業（82万円）

- ・女子学生の理系選択とキャリア形成を支援するため、女性活躍応援講演会及び多様な分野で活躍する女性ロールモデルによるパネルディスカッションを実施

●若者ライフデザインサポート事業（20万円）

- ・東京都と連携し、結婚支援マッチング事業を実施するほか、若い世代に対するライフデザインセミナーを実施

●障害福祉サービス従事者確保支援事業（6,006万円）

●介護従事者確保支援事業（1億3,200万円）

- ・若年層の障害福祉サービス従事者及び介護サービス従事者の確保・定着を図るため、採用時34歳以下の職員に対し勤続6年目まで家賃の一部を補助

●介護予防普及啓発事業（1,833万円）

- ・高齢者の介護予防活動の促進を図るため、LINEにより介護予防情報や認知機能チェックツール等を発信

●東京都シルバーパス購入費助成事業（2億8,309万円）

- ・シルバーパス発行費用の引下げを契機に、購入費の一部を助成することで高齢者の負担を軽減するとともに、外出機会を創出



●高齢者見守り電球設置事業（2,432万円）

- ・通信機能付きLED電球を自宅に設置し、一定時間電球が作動しない場合に通知や訪問を実施

8年度予算における重点的な取組み ～3つの重点テーマ～

8年度に実施する「新たな取組み」や「事業の拡充」のうち、主なものを抜粋しています

3 物価高騰下における 区民・区内事業者への支援

- 【再掲】 小学校夏季施設等参加費補助事業（1億8,163万円）
- 【再掲】 中学校修学旅行等参加費補助事業（2億6,190万円）
 - ・ 区立小学校夏季施設や中学校修学旅行等の宿泊行事にかかる保護者負担の費用を補助（実質無償化）するとともに、公立特別支援学校に通う児童・生徒に対しても同等の補助を実施
- 【再掲】 東京都シルバーパス購入費助成事業（2億8,309万円）
 - ・ シルバーパス発行費用の引下げを契機に、購入費の一部を助成することで高齢者の負担を軽減するとともに、外出機会を創出
- 区民葬儀助成事業（1,441万円）
 - ・ 区民葬儀の利用において指定民営火葬場を利用した個人に対し、費用の一部を助成
- 障害福祉サービス事業所緊急支援事業（35万円）
- 高齢介護サービス事業所緊急支援事業（3,335万円）
- 保育サービス事業所緊急支援事業（5,704万円）
- 私立幼稚園等運営費扶助事業（735万円）
 - ・ 高齢介護・障害福祉サービス事業所や幼稚園・保育園等の子育て施設に運営費を支援
- 商店街装飾灯補助事業（548万円）
 - ・ 近年の電気料金の高騰による商店街の負担軽減を図るため、補助金の算定方法を見直すとともに補助を拡充

参考

7年度補正予算（第4号）の取組み（事業費全額を繰り越し、8年度に実施）

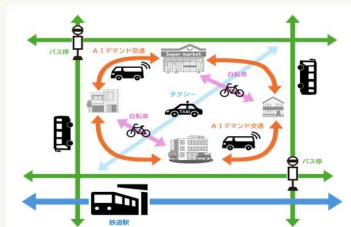
- ▶ プレミアム率20%の区内共通商品券をデジタルと紙で発行（5億2,800万円）
- ▶ エネルギー価格高騰の影響を受ける中小企業者に対して、補助金を交付（7億5,000万円）

今と未来に向けた、新たな取組み

- （仮称）DX推進支援センター管理運営事業（1億3,951万円）
 - ・ 区内中小企業に対する専門家相談やデジタル体験会、DX人材セミナーなどを通してDXを推進するための拠点施設となるセンターの管理及び運営
- DX推進事業〔生成AIの段階的導入〕（8,888万円）
 - ・ 業務効率向上のため、業務ソフト（WordやExcel等）と連携できる生成AIの段階的導入
- DX推進事業〔AI相談記録システムの試行導入〕（4,470万円）
 - ・ 相談記録作成業務の効率化を図るため、電話による相談対応部署において、クラウド電話を活用したAI相談記録システムを試行導入
- ごみ収集運搬事業（4,756万円）
 - ・ 粗大ごみ処理手数料のキャッシュレス決済導入に向け、粗大ごみのオンライン申込と同時にワンストップで処理手数料の支払いができるよう、システム構築を実施
- こうとうオーラルヒストリー動画制作事業（764万円）
 - ・ 区民・議会・行政が一丸となって乗り越えた区の歴史を次世代に伝承するため、オーラルヒストリー動画等を制作
- 観光イベント事業（455万円）
 - ・ 区にゆかりのある題材を取り入れたデザインマンホールを設置
- 江東区コミュニティバス運行事業（1,161万円）
 - ・ 9年度実施予定のAIデマンド交通実証運行に向け、システムを構築



<江東区ごみ戦争の歴史>



など